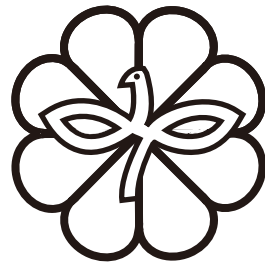


令和 2 年度

# 事業報告並びに収入支出決算報告書(案)



神奈川県民生委員児童委員協議会



# はじめに

令和元年度末から猛威を振り始めた新型コロナウイルスの感染が、令和2年度には世界各地に拡大し、身近な地域生活にも様々な影響が出る1年となりました。これまで「身近な隣人」として、地域住民に寄り添うことを大切にしてきた私たち民生委員・児童委員にとっても、地域住民との関わりや地域活動を制限せざるを得ず、我慢の1年であったと感じています。

このような中でも、従来から活用してきた手紙や電話などの手法に加え、インターネットを活用した取り組みやソーシャルディスタンスを保つための見守り・訪問を模索するなど、これまでとは違った形でも、どうにか地域とのつながりを持ち続けようとする民生委員・児童委員の活動が続けられたことは、私たちにとっての誇りとも言えます。

本会としても、委員活動においては、まずは自身を大切にしようとするとの会長メッセージを複数にわたって発信したほか、次の項目を重点目標に掲げて事業に取り組みました。

重点目標1「個別支援活動の基本となる知識をさらに深める」については、課題別集中講座をはじめとする各種研修会を予定しておりましたが、コロナ禍で多くの研修を中止とせざるを得ない状況になりました。その代わりに、全民児連が作成した研修代替動画による研修を本会にて主催したほか、「県民児協だより」では在住外国人やひきこもりの人の支援などを視野に、これに関わる情報提供を行い、さらに、市町村民児協や単位民児協での研修、あるいは個々の委員の自己学習などに活用できるよう、DVDや書籍などを整備し、貸出を行いました。

重点目標2「子どもや子育て世帯を地域で支えるための活動の推進」として、児童委員・主任児童委員活動推進会議にて、令和元年度に作成した「親子とかかわり『つながる』ための7つのステップ」を活用しながら、地域の子どものかかわり方について考える機会とし、参加できなかった方も学習できるよう、動画を作成・配布しました。また、「県行政（子ども家庭課）と常任理事との懇談会」及び「児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議」を合同で開催し、情報交換や意見交換の場としました。さらに、「ブロック別会議」の共通テーマのひとつに「民生委員が児童委員を兼ねることの理解促進について」を据え、ブロックごとに取り組みを進めました。

重点目標3「民生委員・児童委員活動を支える基盤づくりの推進」として、令和4年度からの「神奈川県版活動強化方策」の策定に向けて、総合企画委員会にて検討を進めました。また、単位民児協会長に向けた「今後の民生委員児童委員活動を展望するアンケート」を実施し、コロナ禍での活動の現状・課題を把握し、「県民児協だより」にて報告しました。「市町村民児協事務担当者会議」ではオンラインも活用して情報交換を行ったほか、「県行政（地域福祉課）と常任理事との懇談会」では、民生委員児童委員活動の充実に向けて意見交換し、課題共有する場となりました。さらに、新しい生活様式の中での委員活動にも活用できるよう、「みんぴょん」デザインのPRグッズを作成・配布するとともに、情報発信の強化に向けて、ホームページの改修作業を行いました。

こうして振り返ってみても、計画通りの事業実施が困難な中で、「今できること」を考えながら、ともに乗り越えてきた1年でもありました。私たちが「和顔愛語」の精神で「凡事を徹底」して在り続けることが、地域住民の安心につながると信じ、これからも皆さまと共に活動を進めてまいりたいと存じます。引き続き、会員並びに関係機関のご協力とご理解をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

令和3年6月

神奈川県民生委員児童委員協議会

会 長 桐 生 行 雄

# も く じ

はじめに

## 事業報告

1. 会務の運営と企画調整機能の強化	1
(1) 会務の運営	1
(2) 企画調整機能の強化	5
(3) 市町村民児協事務局との連絡調整	7
(4) 関係機関・団体との連絡調整	8
(5) 会員慶弔事業の実施	9
2. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、地区民児協活動の強化	11
(1) 地域福祉活動促進費の交付	11
(2) 民生委員・児童委員活動推進事業の指定	21
(3) 地域版活動強化方策の策定支援	22
(4) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援	22
(5) 民生委員・児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施	26
(6) 生活福祉資金の積極的活用、社会福祉協議会との協働の促進	26
3. 児童委員活動の推進（基盤づくり）	26
(1) 児童委員・主任児童委員連絡会議の開催	26
(2) 児童委員・主任児童委員活動推進会議の開催	27
(3) 主任児童委員情報交換会	27
4. 研修事業の実施（本会主催研修事業）	27
(1) 市町村民児協会長研修会	27
(2) 地区民児協会長研修会	27
(3) 新任地区民児協会長研修会	27
(4) 課題別集中講座	27
(5) 新任民生委員児童委員情報交換会	27
(6) 令和2年度全国児童委員活動研修会（全民児連代替動画研修）	28
(7) 令和2年度全国リーダー研修会（全民児連代替動画研修）	28

5. 情報提供の強化	28
(1) 『県民児協だより』の発行	28
(2) 『神奈川県民生委員児童委員活動概況』の発行	30
(3) 民生委員・児童委員活動の広報の強化	30
6. 全国・関東ブロック会議等への参加	31
7. 関連団体・機関との連携、協働	31

## 決算報告

一般会計収入支出決算書	36
貸借対照表	40
固定資産増減明細書	41
積立金明細書	41
財産目録	42
監査意見書	45





# 事業報告

## 1. 会務の運営と企画調整機能の強化

### (1) 会務の運営 経費：428,274円

役員会は、正副会長会議を3回、常任理事会を4回、理事会を4回、総会を2回、監事会を1回開催した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会務のほとんどが書面による開催となったが、本会の適正な運営ならびに具体的活動の方針を協議した。

#### ① 正副会長会議 3回

開催期日	議 題
2.5.11	<b>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</b> 1. 平成31/令和元年度県民児協事業報告ならびに収支決算(案)について 2. 令和2年度収支補正予算(案)について 3. 令和2年度年間計画(案)について 4. 児童委員活動の進め方について 5. 市町村民児協会長研修会(案)について 6. 民生委員・児童委員活動PR事業について 7. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について
2.7.30 於：県社会福祉会館	<b>【新型コロナウイルスの影響で臨時開催】</b> 1. 県民児協事業の予定ならびに進捗状況について 2. 「令和2年7月豪雨」被災地民児協への支援金募金活動について 3. 民生委員児童委員活動PR事業について 4. 地区民児協会長研修会について
3.2.17	<b>【新型コロナウイルスの影響でオンライン及び書面審議】</b> 1. 県民児協事業の予定ならびに進捗状況について 2. 令和3年度事業計画並びに収支予算(案)について ① 事業計画(案)について ② 令和3年度各種助成事業(案)について ③ 収支予算(案)について 3. 令和3年度役員会等年間予定について 4. 令和3年度全国大会・研修会等への参加について 5. 総会の役割分担について

#### ② 常任理事会 4回

開催期日	議 題
2.5.28	<b>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</b> 1. 平成31/令和元年度県民児協事業報告ならびに収支決算について(案) 2. 令和2年度収支補正予算(案)について 3. 令和2年度年間計画(案)について 4. 児童委員活動の進め方について

	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. 市町村民児協会長研修会（案）について</li> <li>6. 民生委員・児童委員活動 PR 事業について</li> <li>7. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について</li> <li>8. 神奈川県消費生活審議会委員（第 2 1 期）の委員推薦について</li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神奈川県社会福祉協議会令和 2 年度民生委員児童委員部会について</li> </ol>
<p>2. 9. 24 於：県社会福祉会館</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協事業の予定ならびに進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市町村民児協会長研修会について</li> <li>● 「神奈川県の民生委員児童委員活動概況」の作成について</li> <li>● 賀詞交歓会について</li> <li>● 県委託研修について</li> </ul> </li> <li>2. 「令和 2 年度 7 月豪雨」被災地民児協への支援金募金活動について</li> <li>3. 「児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議」及び「県行政と常任理事との懇談会」について</li> <li>4. 民生委員児童委員活動 P R 事業について</li> <li>5. 新任地区民児協会長研修会について</li> <li>6. 総会・地区民児協会長研修会について</li> <li>7. 外部委員会の委員推薦について <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部委員会委員委嘱状況について</li> <li>● 「神奈川県子ども・子育て会議」委員の選任について</li> </ul> </li> </ol> <p>■報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 台風 15 号、19 号被災地民児協への支援金の報告について</li> <li>2. 台風 19 号寄付金へのお礼について</li> <li>3. 広報委員会によるアンケート実施について</li> <li>4. 総合企画委員会委員について</li> <li>5. 外部委員会の報告について</li> <li>6. 民生委員児童委員部会について</li> <li>7. その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引き」の発行について</li> <li>② 会費の納入状況について</li> </ol> </li> </ol>
<p>3. 1. 13</p>	<p>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県民児協事業の予定ならびに進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業実施状況について</li> <li>● 予算執行状況について</li> <li>● 今後のスケジュールについて</li> </ul> </li> <li>2. 地区民児協会長研修会の持ち方について</li> <li>3. 令和 3 年度県民児協事業の方向性について</li> <li>4. 総合企画委員会について</li> <li>5. 「令和 2 年度 7 月豪雨」被災地民児協への支援金募金活動について</li> <li>6. 本会「互助事業運営要綱」の改定について</li> </ol>



	<p>7. 新任地区民児協会長向け小冊子について</p> <p>8. 民生委員児童委員活動PR事業について</p> <p>9. 役員慶弔について</p> <p>■報告事項</p> <p>1. 全国民生委員児童委員大会（10/22開催）について</p> <p>2. 「県行政と常任理事との懇談会」および「児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議」について</p> <p>3. 地区会長アンケートについて</p> <p>4. 民生委員児童委員部会について</p>
3. 2. 25	<p>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</p> <p>1. 県民児協事業の予定ならびに進捗状況について</p> <p>2. 令和3年度事業計画並びに収支予算（案）について</p> <p>3. 令和3年度役員会等年間予定について</p> <p>4. 令和3年度全国大会・研修会等への参加について</p> <p>5. 総会の役割分担について</p>

③ 理事会 4回

開催期日	議 題
2. 6. 10	<p>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</p> <p>1. 平成31/令和元年度県民児協事業報告ならびに収支決算について（案）</p> <p>2. 令和2年度収支補正予算（案）について</p> <p>3. 令和2年度年間計画（案）について</p> <p>4. 児童委員活動の進め方について</p> <p>5. 市町村民児協会長研修会（案）について</p> <p>6. 民生委員・児童委員活動PR事業について</p> <p>7. 全国民生委員児童委員大会における優良民児協の推薦について</p> <p>8. 神奈川県消費生活審議会委員（第21期）の委員推薦について</p> <p>■報告事項</p> <p>1. 神奈川県社会福祉協議会令和2年度民生委員児童委員部会について</p>
2. 10. 15 於：ホテルプラム	<p>1. 県民児協事業の予定ならびに進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 賀詞交歓会について</li> <li>● 県委託研修について</li> <li>● 予算執行見込みについて</li> </ul> <p>2. 「令和2年度7月豪雨」被災地民児協への支援金募金活動について</p> <p>3. 「児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議」及び「県行政と常任理事との懇談会」について</p> <p>4. 民生委員児童委員活動PR事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ホームページの充実</li> <li>● 「やさしい日本語」パンフレット作成</li> <li>● PRグッズのカタログづくり</li> </ul>

	<p>5. 新任地区民児協会会長研修会について</p> <p>6. 総会・地区民児協会会長研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 総会の役割分担について</li> <li>● 会場について</li> <li>● 地区民児協会会長研修会</li> </ul> <p>■報告事項</p> <p>1. 台風15号、19号被災地民児協への支援金の報告について</p> <p>2. 台風19号寄付金へのお礼について</p> <p>3. 広報委員会によるアンケート実施について</p> <p>4. 総合企画委員会委員について</p> <p>5. 外部委員会の委員委嘱状況および報告について</p> <p>6. 民生委員児童委員部会について</p> <p>7. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「神奈川県民児協版児童委員・主任児童委員活動の手引き」の発行について</li> <li>② 令和3年度（第80回）関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会〔千葉市大会〕について</li> <li>③ 会費の納入状況について</li> </ul> <p>■情報交換</p> <p>1. Webアンケート結果の報告について</p> <p>2. コロナ禍での地域での活動状況、地域での会議等の持ち方について（対面以外の方策について）</p>
3.1.28	<p>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</p> <p>1. 県民児協事業の予定ならびに進捗状況について</p> <p>2. 地区民児協会会長研修会の持ち方について</p> <p>3. 令和3年度県民児協事業計画について</p> <p>4. 総合企画委員会について</p> <p>5. 「令和2年7月豪雨」被災地民児協への支援金募金活動について</p> <p>6. 本会「互助事業運営要綱」の改定について</p> <p>7. 新任地区民児協会会長向け小冊子について</p> <p>8. 民生委員児童委員活動PR事業について</p> <p>9. 役員慶弔について</p> <p>■報告事項</p> <p>1. 全国民生委員児童委員大会（10/22開催）について</p> <p>2. 「県行政と常任理事との懇談会」および「児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議」について</p> <p>3. 地区会長アンケートについて</p> <p>4. 民生委員児童委員部会について</p> <p>5. 外部委員会の報告について</p>
3.3.8	<p>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</p> <p>1. 県民児協事業報告並びに進捗状況について</p>

	2. 令和3年度事業計画並びに収支予算について 3. 令和3年度役員会等年間予定について 4. 令和3年度全国大会・研修会等への参加について 5. 総会の役割分担について <b>■報告事項</b> 1. 外部委員会の報告について
--	---

このほか、役員向けに「Web会議」環境に関するアンケートを実施し、事業実施方法の検討に活かした。回答数：28件（回収率93.3%）

④ 総会 2回

開催期日	議 題
2.6.26	<b>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</b> 1. 平成31/令和元年度県民児協事業報告並びに収支決算（案）について 2. 令和2年度収支補正予算（案）について
3.3.29	<b>【新型コロナウイルスの影響で書面審議】</b> 1. 令和3年度県民児協事業計画並びに収支予算（案）について

⑤ 監事会 1回

開催期日	議 題
2.6.2	<b>【新型コロナウイルスの影響で電話による説明・書面開催】</b> 1. 平成31/令和元年度事業報告ならびに収入支出決算（案）について

(2) 企画調整機能の強化

事業の企画や事業を円滑にすすめるために各種会議を開催した。

① 広報委員会 4回 経費：67,323円

開催期日	議 題
2.9.4	<b>【新型コロナウイルスの影響により書面開催】</b> 1. 『県民児協だより第143号』の紙面企画について 2. その他
2.11.30 於：県社会福祉会館	1. 『県民児協だより第143号』の紙面校正について 2. 『県民児協だより第144号』の紙面企画について 3. 令和2年度通信員連絡会について 4. コロナ禍における広報委員会のすすめ方について 5. その他
3.2.10	<b>【新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催】</b> 1. メンバー確認／Zoomの使い方の確認／趣旨の確認 2. 前回発行号「県民児協だより143号」の感想について 3. オンライン会議を実施してみたいの意見交換 4. 次回発行号「県民児協だより144号」の執筆の進め方

	5. 次回広報委員会の開催方法について 6. その他
3.3.3	【新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催】 1. 『県民児協だより』第144号紙面校正について 2. 令和3年度の紙面計画について 3. 『県民児協だより』第145号紙面企画について 4. 広報委員会におけるLINEの活用について 5. その他

このほか、単位民児協に向けて「今後の民生委員児童委委員活動を展望するアンケート」を実施し、県民児協だより第143号にて報告した。回答数：163名（回答率84.5%）

広報委員（令和元年12月1日から令和4年11月30日まで） ◎委員長 ○副委員長

- ◎根本 智（横須賀市民生委員児童委員）
- 高田 陽子（茅ヶ崎市民生委員児童委員）
- 倉橋 郁子（海老名市民生委員児童委員）
- 西村 恵美子（南足柄市主任児童委員）
- 八木下 修治（愛川町民生委員児童委員）※令和2年11月30日付退任
- 佐野 千代子（大磯町主任児童委員）
- 若林 宏光（箱根町民生委員児童委員）

## ② 通信員連絡会

※新型コロナウイルスの影響で中止

通信員（令和元年12月1日から令和4年11月30日まで）

市町村名	通信員名	市町村名	通信員名	市町村名	通信員名
横須賀市	山 岸 一 男	大 和 市	倉 林 夏 子	大 磯 町	庄 司 幸 夫
平 塚 市	井 上 勝 博	伊 勢 原 市	青 柳 嘉 男 出 縄 幹 雄	二 宮 町	山 影 由 美 子
鎌 倉 市	川 田 順 一	海 老 名 市	佐 久 間 ひ さ み	中 井 町	早 田 恵 美 子
藤 沢 市	阿 部 川 扶 美 子	座 間 市	清 水 春 男	大 井 町	菅 沼 玲 子
小 田 原 市	石 塚 ミ ド リ	南 足 柄 市	久 積 瑠 美 子	松 田 町	山 田 敏 子
茅 ヶ 崎 市	中 尾 圭 子	綾 瀬 市	中 嶋 利 宏	山 北 町	細 谷 榮 一
逗 子 市	松 岡 蓉 子	愛 川 町	洞 山 巖	開 成 町	大 野 富 枝
三 浦 市	大 森 美 城 雄	清 川 村	橋 爪 公 子	箱 根 町	芝 京 子
秦 野 市	廣 川 士 朗	葉 山 町	藤 本 茂 夫	真 鶴 町	青 木 和 美
厚 木 市	高 田 幸 夫	寒 川 町	佐 和 橋 み どり	湯 河 原 町	横 井 勝 己

(3) 市町村民児協事務局との連絡調整

① 市町村民児協事務担当者会議 3回 経費：13,940円

開催期日	議 題
—	<p><b>【新型コロナウイルスの影響で資料送付】</b></p> <p>送付資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神奈川県民生委員児童委員協議会の概要</li> <li>2. 年間スケジュール（案）について</li> <li>3. 民生委員・児童委員を対象とする助成事業について</li> <li>4. 互助事業について</li> <li>5. 個別援助票・調査事務・活動記録について</li> <li>6. 地域版・神奈川県版「民生委員児童委員活動強化方策～今後力を入れる活動を全委員で共有するため～」について</li> </ol>
<p>2.12.21 於：県社会福祉会館</p>	<p><b>【新型コロナウイルスの影響で集合及びオンラインでの開催】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本年度県民児協事業について</li> <li>2. 市町村民児協の状況について（情報交換）             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新型コロナウイルス感染症による影響について（予算の取扱、研修開催方法等について）</li> <li>② 欠員への対応について（一斉改選に向けた取り組み、欠員地区のフォロー等）</li> </ol> </li> </ol>
<p>3.3.2</p>	<p><b>【新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年度県民児協事業計画並びに収支予算（案）について             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事業計画（案）について</li> <li>② 令和3年度各種助成事業（案）について</li> <li>③ 収支予算（案）について</li> </ol> </li> <li>2. 令和3年度全国大会・研修会等への参加について （後半は県主催の令和2年度民生委員・児童委員担当者会議と共催）             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍での民生委員・児童委員の活動等に関する課題及び好事例について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県より全国厚生労働関係部局長会議資料の紹介（委員の活動・研修）</li> <li>・県及び各市町村における好事例等の情報交換</li> </ul> </li> <li>○ 民生委員・児童委員の担い手不足に対する課題及び好事例について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県より全国厚生労働関係部局長会議資料の紹介（民生委員制度の普及啓発）</li> <li>・県及び各市町村における好事例等の情報交換</li> </ul> </li> <li>○ 民生委員・児童委員の負担軽減に対する取り組みについて                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県より全国厚生労働関係部局長会議資料の紹介（民生委員協力員）</li> <li>・県及び各市町村における好事例等の情報交換</li> </ul> </li> <li>○ その他                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県より全国厚生労働関係部局長会議資料の紹介（災害時における民生委員）</li> <li>・県及び各市町村の情報交換</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>

このほか、市町村民児協向けに「Web会議」環境に関するアンケートを実施し、集計結果を共有した。回答数：30件（回収率100%）

② 市町村民児協事務局向けの情報配信

各市町村民児協事務局へ、研修や会議の日程などの事務連絡を定期的に電子メールにより配信し、業務の円滑な推進を図った。

(4) 関係機関・団体との連絡調整

① 県行政と常任理事との懇談会 1回 経費：31,900円

本会常任理事と民生委員・児童委員の業務に関係が深い県地域福祉課との懇談会を開催し、民生委員・児童委員活動にかかわる神奈川県との取り組みと課題等を報告するとともに、協議題についての意見交換を行った。

開催期日	議 題
2.11.26 於：県社会福祉会館	<p>【新型コロナウイルスの影響で常任理事人数を半数にしての開催】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>開会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会会長</li> <li>県地域福祉課より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前回の懇談会以降の進捗状況について</li> <li>● 年齢撤廃について</li> <li>● 民生委員・児童委員活動、制度持続のための県の支援について</li> <li>● PR・「なり手」確保・推薦方法について</li> </ul> </li> <li>意見交換・情報交換</li> <li>閉会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会副会長</li> </ol>

② 児童相談所所長と常任理事との連絡調整会議 1回 経費：23,493円

児童に関する問題について相談に応じる専門機関である児童相談所と、児童委員活動と関係の深い子ども家庭課、地域を見守り、児童相談所につなげる役割である民生委員・児童委員の三者で連絡調整を図る場として開催した。

開催期日	議 題
2.11.26 於：県社会福祉会館	<p>【新型コロナウイルスの影響で常任理事人数を半数にしての開催】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>開会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会会長・神奈川県中央児童相談所所長</li> <li>児相長および県子ども家庭課より説明</li> <li>意見交換・情報交換 テーマ：①コロナ禍における課題、②児相と児童委員との連携に向けて、③民生委員・児童委員（民児協）の広報啓発について</li> <li>閉会 あいさつ：神奈川県民生委員児童委員協議会副会長</li> </ol>

(5) 会員慶弔事業の実施

① 県民児協互助事業 経費：1,180,000円（給付金）

会員及び配偶者に対して弔慰または見舞金の給付を行った。

区分	種別	件数（件）	金額（円）	退任記念品
死亡弔慰	公務死亡	—	—	—
	一般死亡	10	200,000	10
	配偶者死亡	27	270,000	—
傷病見舞	公務傷害※	8	80,000	—
	公務疾病	—	—	—
	一般傷病	62	620,000	—
出産祝金	女性会員祝金	1	10,000	—
災害見舞	災害	—	—	—
退任慰労	退任慰労	30	—	30
合計		138	1,180,000	40

※訪問活動中、高齢者を介助して腰を痛め、ぎっくり腰と診断された 等

② 全国互助事業 経費：1,591,000円（給付金）

全国民生委員互助運営要綱により、それぞれ給付を行った。

区分	種別	件数（件）	金額（円）
死亡弔慰	公務死亡	—	—
	一般死亡	10	300,000
	配偶者死亡	27	405,000
傷病見舞	公務傷害※	8	280,000
	公務疾病	—	—
	一般傷病	62	606,000
災害見舞	災害	—	—
退任慰労	退任慰労	30	0
合計		137	1,591,000

※訪問活動中、高齢者を介助して腰を痛め、ぎっくり腰と診断された 等

[全国・県 合計給付状況内訳]

市町村名	総件数				市町村名	総件数			
		給付金		退任 記念品			給付金		退任 記念品
		金額(円)	件数				金額(円)	件数	
横須賀市	16	313,000	12	6	綾瀬市	6	130,000	6	0
平塚市	10	215,000	10	0	愛川町	3	18,000	1	2
鎌倉市	4	43,000	2	2	清川村	0	0	0	0
藤沢市	23	480,000	19	5	葉山町	5	35,000	2	3
小田原市	8	133,000	5	4	寒川町	1	25,000	1	0
茅ヶ崎市	11	303,000	10	3	大磯町	2	50,000	2	0
逗子市	0	0	0	0	二宮町	2	65,000	2	0
三浦市	0	0	0	0	中井町	0	0	0	0
秦野市	7	140,000	5	3	大井町	2	18,000	1	1
厚木市	11	265,000	9	3	松田町	0	0	0	0
大和市	7	93,000	3	5	山北町	1	25,000	1	0
伊勢原市	7	140,000	6	1	開成町	1	20,000	1	0
海老名市	3	100,000	3	1	箱根町	0	0	0	0
座間市	6	140,000	6	0	真鶴町	0	0	0	0
南足柄市	0	0	0	0	湯河原町	2	20,000	1	1
						138	2,771,000	108	40

注) 一般死亡の方については、給付金と退任記念品をお渡ししています。そのため、総件数は給付金及び退任記念品贈呈の対象者の実人数であり、給付金件数と退任記念品件数の合計ではありません。

③ 全国共励事業の実施と協力

本会が、全社協へ民生委員互助共励事業会費 8,453,100 円を納入し、全社協から 3,588,100 円の助成があった。本会では、全国共励事業の一環として全国指定民生委員児童委員協議会への助成を行い、また、地方事務費を本会の全国互助共励事業取扱に伴う事務費に充当した。

<助成金の内訳> (単位：円)

種別	金額
互助事業	1,727,000 円
共励事業	526,400 円
地方事務費	1,334,700 円
合計	3,588,100 円

このほか、全社協が共励事業の一環として発行した『民生委員・児童委員のひろば』等資料の配布を受けた。



2. 個別支援を基本とした民生委員・児童委員活動の確立、地区民児協活動の強化

民生委員・児童委員活動の組織的基盤であり、拠点である地区民児協の充実強化を図るため、指定地区を中心に支援を行った。

(1) 地域福祉活動促進費の交付 経費：9,857,000円

民生委員・児童委員活動の充実を図るとともに、市町村民児協の自主的運営と組織整備を推進する事業並びに具体的福祉活動に対してその経費の一部として助成金を交付し、地域福祉の推進に努めた。

<交付金総額> 9,857,000円

① 地域福祉活動促進費使途内容

市町村名	内 容
横須賀市	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 諸会議等 新型コロナウイルス感染対策、環境整備</li> <li>○ 事務費 通信費および印刷費</li> </ul> <p><b>【住民福祉を实践するうえで必要な事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ PRカード、パンフレット購入等広報啓発</li> </ul> <p><b>【研究事業・実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部会活動 研究広報部会（調査・研究活動、情報交換や研修会等） 在宅福祉部会（調査・研究活動、情報交換や研修会等） 児童福祉部会（調査・研究活動、情報交換や研修会等）</li> <li>○ 市民児協会報発行 研究広報部会で調査・研究等行った報告、関係機関との情報交換の結果等を掲載し、委員同士の情報の共有と活動の充実をはかるため、年2回会報を発行した。</li> </ul>
平塚市	<p><b>【実践事業、研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報部会：会議4回、「ひらつか民児協だより32号」を発行、広報部会のLINEWORKを立ち上げ、企画・編集等の広報作成の場とした 5月の「民生委員の日」関連行事としてパネル展を市役所多目的ホールで実施</li> <li>○ 高齢者部会：活動自粛</li> <li>○ 心身障がい者部会：障がい者に関する知識取得に努力し、地区定例会にて報告することで地域住民の理解を深める活動を行った（レポート作成）</li> <li>○ 児童部会：全国児童委員活動研修会の動画研修</li> <li>○ 主任児童委員連絡会：全国活動研修会での動画講義・シンポジウム視聴</li> <li>○ 理事会、総会、常任理事会</li> </ul> <p><b>【調査事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種実態調査</li> </ul> <p><b>【住民福祉を实践していくうえで必要な経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報活動</li> </ul>
鎌倉市	<p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究部会における研究活動に対する助成：3つの研究部会による活動の助成を図った</li> </ul>

	<p>(1)「提案部会」会議 2 回：活動テーマを「引継ぎマニュアルの作成」として、引継ぎ資料の見直しのため従来の資料の確認。</p> <p>(2)「広報部会」会議 3 回：コロナ禍で会議開催が困難な時も、メールなどで役員どうし連携し前回より引き継いだ鎌倉市の『社協だより』へ民生委員児童委員の活動紹介記事の掲載を続けた。また、記事の名前を『みんぴょん通信』とし、民生委員が市民により親しんでもらえるような紙面づくりを目指している。</p> <p>(3)「福祉部会」会議 6 回：避難所についてを研究テーマと決める。まず委員各自の地域防災についての知識、疑問点を報告しあった。また、災害に備える民生委員活動 10 箇条を読み、研究を行った。</p> <p><b>【地域福祉活動推進事業】</b> 地域福祉活動の充実強化を図るため、経費の一部を各地区に交付</p>
藤 沢 市	<p><b>【研修事業・実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会長会研修「ヤングケアラーに関するアンケート（2018 年実施）結果のフィードバックについて」講師：青木由美恵（関東学院大学看護学部教授）（全 16 地区会長参加）</li> <li>○ 高齢者福祉対策部会研修会「地域共生社会の実現に向けて～藤沢市の高齢者施策～」講師：藤沢市役所 福祉健康総務課（57 名参加）</li> <li>○ 障がい者福祉対策部会研修会「障がいのある子って、どんな気持ち？」講師：藤沢市手をつなぐ育成協力会（48 名参加）</li> <li>○ 低所得者福祉対策部会研修会「地域共生社会の実現に向けて～食の支援と居場所づくりの視点から～」講師：藤沢市役所 福祉健康総務課（18 名参加）</li> <li>○ 児童福祉対策部会研修会「発達障害のある子どもたちへの理解と支援」講師：藤沢市役所 教育指導課（元市立白浜養護学校校長）（50 名参加）</li> <li>○ 主任児童委員連絡会研修会「藤沢市の子育て支援について」講師：藤沢市役所 子育て企画課（29 名参加）</li> <li>○ 会議 会長会の開催 11 回 四部会は企画委員会会議を各々 1 回、主任児童委員連絡会（児相等との情報交換会）を 2 回開催</li> </ul> <p><b>【交流・広報活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動報告（冊子）の作成（全 16 地区）</li> <li>○ 交換民児協の実施</li> <li>○ 16 地区民児協の活動、写真等によるパネル展示</li> <li>○ 藤沢市民児協だよりの発行</li> <li>○ 主任児童委員紹介リーフレット作成</li> </ul>
小田原市	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> <li>○ ブロック別研修会：市内 26 地区を 6 ブロックに分け、地区ごとにテーマを決めて研修を行った。民生委員児童委員としての資質の向上を図るとともに、近隣地区の民生委員児童委員の連携強化を図った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2 ブロックは中止</li> <li>○ 理事視察研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> <li>○ 各種福祉団体が主催する研修会への参加（県民児協、県・市社協）</li> </ul>

	<p><b>【部会活動事業】</b></p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、心配ごと相談部会を除き活動を中止 (住民福祉を推進していくうえで必要な経費)</p> <p>○ マスクの購入 各種研修を中止とし、訪問活動で使用するマスクを購入</p>
茅ヶ崎市	<p><b>【住民福祉を実践していくうえで必要な経費】</b></p> <p>○ 市民児協広報誌「おひさま」を令和3年2月15日付で発行。 発行部数：90,000部 配布先：全戸配布、市内公共施設ほか</p> <p>○ 主任児童委員パンフレット作成 配布先：市内小中学校新入学生徒保護者</p> <p>○ 民生委員活動PRグッズ、教材等の購入費</p> <p><b>【実践事業】</b></p> <p>○ 高齢福祉部会：代表者会議0回、研修会・講演会0回、役員会9回</p> <p>○ 障害福祉部会：代表者会議2回、研修会・講演会0回、役員会4回、監査役員会1回</p> <p>○ 児童福祉部会：代表者会議2回、研修会・講演会0回、施設見学会0回、役員会5回 他</p> <p>○ 主任児童委員連絡会：連絡会9回（研修会・講演会4回含む）他 「こんにちは赤ちゃん訪問」従事者研修、「家庭児童相談室の役割と主任児童委員との 関わり」講師：小山織星・大木真希（家庭児童相談室）、「ほしつメソッド勉強会」 講師：青木幸子（家庭児童相談室） 「乳児期の発達 心を育てる育児」講師：萩野信子（臨床心理士）</p>
逗子市	<p><b>【部会活動】</b></p> <p>○ 高齢者福祉部会：新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での会議を開催しな かったが、部会員に資料を送付し課題を共有した。</p> <p>○ 障がい者福祉部会：会議4回（うち研修2回） 研修「障がいの理解について」講師：湘南の風 小林 倫理事（湘南の風もやい）</p> <p>○ 児童福祉部会：会議1回</p> <p>○ 主任児童委員連絡会：会議12回 主任児童委員・子ども相談員・鎌倉三浦地域児童相談所職員との情報交換会、 三浦市・葉山町主任児童委員との交流会、えがおサポート、他団体への協力・支援、 学校・保育園関係（評議員等）、福祉教育チームの活動、親子ひろば、ずし子ども0 円食堂等フードドライブ子ども応援大作戦</p>
三浦市	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ 民児協活動の円滑な推進と、民生委員・児童委員の資質の向上を図るため、県民児 協等が開催する研修会に参加した</p> <p><b>【住民福祉を推進していくうえで必要な経費】</b></p> <p>○ 地区民児協並びに主任児童委員の活動に対し助成を行い、活動の活性化を図った 地区民児協の主な活動：地域における見守り活動、小中学校と連携した児童・生徒 の見守り、行政及び社協と連携した福祉サービス利用援助</p>

	主任児童委員の主な活動：子育てサロン「ほっと＊ハート」の開催 「赤ちゃん訪問」による地域の子育て家庭の把握
秦野市	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秦野市地域生活支援センター「ばれっと・はだのについて」（常任理事）</li> <li>○ 在宅歯科訪問診察について（常任理事）</li> <li>○ 県民児協等が開催する研修会への参加（新任・希望者）</li> </ul> <p><b>【調査事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全民児連作成（H31年3月）の第3版「災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針」改定に基づき、災害時民生委員児童委員活動マニュアルを改定案作成。災害への備えは地域全体の課題であり、平時の取り組みが最も重要であることを意識し、日ごろの地域の見守り・支援活動に取り組んだ。</li> <li>○ あんしんカードをひとり暮らし高齢者等へ配布した。</li> <li>○ こんにちは赤ちゃん訪問事業（市主催事業）に協力した。</li> <li>○ 一人暮らし高齢者等実態調査の事前調査（情報提供）に協力（市主催事業）</li> <li>○ 敬老祝金・祝品贈呈の見直し（意見書）に協力（市主催事業）</li> </ul> <p><b>【住民福祉を实践するうえで必要な活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報活動：①のぼり旗の作成、PRカード購入等啓発活動、②「感染対策しています」のチラシを作成、訪問対象者へ配付しPR活動、③広報紙「まなざし」（年3回発行）、④11月の児童福祉推進月間にオレンジリボンツリーを設置、民生委員・児童委員の活動をPR</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域援護部会：会議4回、勉強会2回、①「あおり運転と法改正について」講師：秦野警察署交通課職員、②「救急車を上手に使いましょう」講師：消防管理課職員</li> <li>○ 高齢部会：会議3回、勉強会2回、①「夏に最適！熱中症予防」講師：高齢介護課保健師、②「毎日の食事が免疫機能を支える」講師：高齢介護課管理栄養士</li> <li>○ 障害部会：会議2回、勉強会2回、①「障害者への理解について」講師：障害福祉課担当課長、②「障害者虐待防止法について」講師：秦野市障害者権利擁護センターライツはだの</li> <li>○ 児童部会：会議2回、勉強会1回、①「子どもの居場所づくりの現状と課題」講師：川崎市子ども夢パーク所長・フリースペースえん代表、②主任児童委員部との合同研修1回「秦野市で対応している子どもたちの状況について」講師：こども家庭支援課職員</li> <li>○ 主任児童委員部：会議4回、児童部会との合同研修1回、11月児童虐待防止推進月間にオレンジリボンツリー（イオン及び保健福祉センター）設置</li> <li>○ 広報部：会議12回、民児協だより3回発行（4・8・12月）</li> </ul>
厚木市	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、全員研修会中止</p> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設ふれあい部会：会議2回、研修1回 「施設における感染症対策・対応について」</li> <li>○ 高齢部会：会議2回、研修1回</li> </ul>

	<p>「感染症流行下において高齢者がからだところを健康に保つためのポイント」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童部会：会議 1 回、研修 1 回</li> </ul> <p>「厚木市家庭相談課における児童虐待相談状況について」</p> <p><b>【住民福祉活動を推進していく上で必要な経費】</b></p> <p>各地区民児協（15 地区）ごとに実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボランティア広報啓発活動（@20,000×15 地区）、ボランティア活動・福祉のまちづくり運動の推進、ボランティアの発掘・把握・育成、地域包括及び地区地域福祉推進委員会並びに地域ボランティア等と連携し、在宅高齢者等の把握と支援活動</li> <li>○ 施設ふれあい活動（@600×303 人）</li> </ul> <p><b>【消耗品費】</b></p> <p>事務用品、感染対策用品（携帯用消毒液・会議用新型コロナウイルス対策フレーム）</p>
大和市	<p><b>【調査事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活福祉部会：生活福祉資金の適正な運営を図るために市社協と協力し、研修やグループワーク等を通じて制度の理解促進に努めた（計 2 回実施）。</li> <li>○ 児童委員部会：関係機関等との情報交換会や施設見学等を行い、行政との連携強化を図った（計 2 回実施）。</li> <li>○ 広報部会：委員相互理解を深めるため、民生委員日より「しらかし」を年 1 回発刊（計 2 回実施）</li> </ul> <p><b>【住民福祉を推進していくうえで必要な事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区民児協活動費の交付 <ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者世帯に対する安否確認を目的とした訪問活動、②低所得者に対する相談援助、③地区民児協の視察研修会、④地域住民に対する支援活動</li> </ul> </li> </ul>
伊勢原市	<p><b>【地域福祉活動促進事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て支援事業保育クラブ（保育クラブ運営・地域子育てグループ支援）</li> <li>○ 地域施設支援事業（高齢者施設等の支援）</li> <li>○ 子育て支援地域交流会（小学校・中学校・保育所における交流会実施）</li> <li>○ 高齢者声かけ事業</li> <li>○ 心身障害児声かけ事業</li> <li>○ 地区民児協研修会</li> </ul>
海老名市	<p><b>【研修会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ：「孤立している子育て家庭に寄り添うために」</li> <li>講師：西郷泰之（全国社会福祉協議会中央福祉学院教授）</li> </ul> <p><b>【広報誌発行】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報「ふれあい」を 2 回発行（第 88 号、第 89 号）</li> <li>市内自治会加入世帯及び、民生委員把握家庭、公共施設等に配布</li> </ul>
座間市	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体研修会（自粛）</li> <li>「令和時代の民生委員活動」冊子代</li> </ul> <p><b>【実践事業・委員会活動】</b></p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主任児童委員会：会議、研修、情報交換会等3回、例年は視察研修の実施や毎月第2・4土曜日に子育て広場「よちよち」を開催しているが、新型コロナウイルス感染症流行の影響により中止</li> <li>○ 地域福祉推進委員会：会議2回</li> </ul> <p>【住民福祉を推進していくうえで必要な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報委員会：施設や行事等を取材し、市民児協広報紙「こぼと」発行、作業の進捗状況により随時開催する、「民生委員・児童委員の日」活動強化週間に合わせたパネル展は新型コロナウイルス感染症流行の影響により中止</li> </ul>
南足柄市	<p>【調査・研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時要援護者実態調査</li> <li>○ 母子・児童部会：情報交換会、主任児童委員部会：関係機関との情報交換会、高齢者部会：情報交換会 障害者部会：情報交換会</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、施設視察研修は中止</p> <p>【研修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害者部会：車いす実技研修、ボランティア養成研修</li> <li>母子・児童部会、主任児童委員部会：児童虐待対策研修会</li> <li>主任児童委員部会：講演会・研修会参加</li> </ul> <p>【実践事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 岡本地区高齢者部会：一人暮らし高齢者への暑中見舞、年賀状発送</li> <li>中央地区高齢者部会：80歳以上の一人暮らし高齢者全員へ花の鉢プレゼント</li> <li>主任児童委員部会：新生児訪問事業</li> </ul> <p>【住民福祉を実践していくうえで必要な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主任児童委員部会：3ヵ月児・1歳6ヵ月児・3歳児健診時『子育て応援します』パンフレット配布、子育てサロン協力、なかよしフェスタの開催準備（民生委員パンフレット作成）</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、老人保健施設等支援活動は中止</p>
綾瀬市	<p>【研修事業】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止</p> <p>【研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理事会の開催：民児協の運営方法、各種事業への取組等を協議・検討し、組織活動の充実を図った（月1回）。</li> <li>○ 各地区における研究・活動：地域の福祉ニーズを的確に把握し、特徴にあった独自の活動を展開した。</li> </ul> <p>【実践事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各委員会（主任児童委員会、研修委員会、広報委員会、活動記録集作成委員会）による専門的な特性を活かした各種関連事業を実施し、地域福祉の向上を図った。</li> </ul>
愛川町	<p>【地区別研修事業&lt;地区民児協活動&gt;】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北地区・南地区それぞれで会議等を開催。要援護ケースの事例研究や活動報告などの情報交換を行った。</li> </ul> <p>内容：福祉施設、関係機関、福祉ボランティア団体等の視察・研修などを開催</p>

	<p>その他勉強会、定期的な情報交換会を実施</p> <p><b>【専門別研究事業&lt;専門部会活動&gt;】</b></p> <p>○ 各部会等により、会議及び研修会などを開催し、専門知識の修得と研修を行った。</p> <p>障がい者福祉部会：研修会 他</p> <p>児童福祉部会：研修会、子育て支援センター見学 他</p> <p>高齢者福祉部会：研修会、ミニデイサービスへの参加交流・高齢者の実態把握（2施設）他</p> <p>主任児童委員連絡会：定例会議、小・中学校行事や研修会への参加、ケース会議への参加、子育て支援センターとの情報交換、児童相談所との情報交換、町外・町内施設研修、子育てサロンの実施 他</p> <p>その他自主活動：地域の民生委員及び活動内容紹介のため、広報誌を作成し周知を図った</p> <p><b>【モニター事業】</b></p> <p>○ ねたきり高齢者、認知症高齢者、ひとり暮らし高齢者などの世帯を訪問し、本人をはじめ、家族等の実態やニーズ調査及び把握を行った（7月～8月にかけて訪問調査を実施）。</p> <p><b>【地域福祉推進事業】</b></p> <p>○ 新型コロナウイルス感染防止の観点から、町の福祉のまちづくり推進事業（社会福祉大会、福祉体育大会）やふれあい広場は中止</p> <p>年末助け合い運動への参加・協力及びボランティアグループとの連携に努め、地域福祉推進活動を行った。</p>
清川村	<p><b>【訪問活動事業】</b></p> <p>○ 担当地区内の要援護者等に対する訪問活動等</p> <p>高齢者の見守り（独居高齢者、高齢者のみ世帯などへの訪問活動）</p> <p>訪問活動で聴取した困りごと等について地域包括支援センター等への報告</p>
葉山町	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ ボランティア活動実践交流会参加（県社協主催研修、2名参加）</p> <p><b>【実践事業】</b></p> <p>○ 主任児童部会：赤ちゃん訪問事業用プレゼント（パンフレット、絵本）</p> <p><b>【住民福祉を推進していくうえで必要な経費】</b></p> <p>○ 新型コロナウイルス感染拡大防止用消耗品（非接触式電子体温計）等</p>
寒川町	<p><b>【研修事業】</b></p> <p>○ 新任委員研修（寒川町民センター展示室）</p> <p><b>【実践事業】</b></p> <p>○ 児童部会：部会（事業計画について）開催、学校訪問・二部会研修・研修・ふれあい事業・子育て広場協力はいずれも中止</p> <p>○ 高齢者部会：部会協議（令和3年度活動計画決定）開催、ケアマネジャーとの交流会・老人介護施設訪問・きくの郷「夏まつり」参加・認知症予防体操及び反省会・徳洲会医師による講座・包括支援センター職員による研修はいずれも中止</p> <p>○ 障がい者部会：研修（バリアフリー上映会「星に語りて」鑑賞）、部会（令和3年度</p>

	<p>活動計画について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集部会：部会 6 回（活動計画、SMJ KVol 9 作成のため、内容の検討、校正、編集、スケジュール確認、次年度企画）</li> <li>○ 主任児童委員部会：部会 4 回、子育てひろば「お母さんと赤ちゃんの遊び場提供、保健士さんによる計測と相談」、町子どもサポートネットワーク協議会、個別ケース検討会議、乳幼児部会、赤ちゃん訪問（電話対応）、父親・母親教室会（あじさいコース・こすもすコース・さざんかコース・すいせんコース）お手伝い</li> </ul>
大磯町	<p><b>【福祉活動事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主事業：民生委員児童委員たより発行、委員間の安否確認訓練（コロナ禍のため個別対応）、パネル展中止</li> <li>○ 研修会：普通救命講習中止、研修（定例会内で実施）</li> <li>○ 町保健福祉事業協力：乳児家庭全戸訪問事業中止 2 歳児全戸訪問事業中止 80 歳以上高齢者宅への個別訪問</li> <li>○ 各種催事参加協力：社会を明るくする運動中止</li> <li>○ 部会活動：高齢者部会：会議 11 回（集合 5 回、書面 6 回） 児童部会：会議 11 回（集合 5 回、書面 6 回） 障がい者部会：会議 11 回（集合 5 回、書面 6 回） 地域福祉部会：会議 11 回（集合 5 回、書面 6 回）</li> </ul>
二宮町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体研修：研修及び新小学 1 年生下校時見守り活動を予定していたが、いずれも中止</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者部会・障がい者部会・児童部会：高齢者施設、障害者施設、学童等において活動の支援を実施（新型コロナウイルスの影響により例年よりも活動の制限があった）</li> </ul> <p><b>【住民福祉を実践していくうえで必要な経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 啓発活動：地域住民に対し、民生委員を PR するための物品購入</li> </ul>
中井町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 勉強会：①町健康課職員による出前講座「元気なうちから介護予防！認知症サポーター養成講座」、②小田原消防本部消防隊員による「救命講習会」</li> <li>○ 視察研修 中止</li> </ul> <p><b>【調査・研究・実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部会活動 高齢・障がい福祉部会：情報誌の発行 3 回 児童福祉部会：未就学児の会各種行事に参加・協力</li> <li>○ 地区活動 中村上地区：定例会 5 回、包括支援センターとの意見交換会 1 回 中村下地区：定例会 2 回、包括支援センターと意見交換会 1 回 井ノ口地区：定例会 5 回、包括支援センターとの意見交換会 1 回</li> <li>○ 主任児童委員活動：赤ちゃん訪問 8 回、産後ケア事業 6 回、会議・研修会 2 回</li> </ul>



大井町	<p><b>【会議・研修】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体研修：「精神疾患、精神障害について」「社会福祉協議会事業の説明」「生活福祉資金貸付制度について」「新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について」</li> <li>○ グループワーク：「活動に対しての困りごと、研修会として学びたいこと」</li> </ul> <p><b>【実践活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者部会：学習会、障がい者部会：学習会、児童部会：学習会</li> <li>○ 感染症対策を講じた見守り、訪問活動</li> </ul>
松田町	<p><b>【管理運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会議：年次総会（書面会議）、定例会（12回のうち書面会議2回）、拡大委員会（1回）、本部役員会（12回）</li> <li>○ 県民児協・県社協・その他各研修会への参加、ボランティア事故共済保険加入</li> </ul> <p><b>【各種活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ AED講習会、避難所運営ゲームHUG訓練や、開成町民児協との交流会を予定していたがすべて中止</li> <li>○ 分野別専門部会（高齢者、児童、障害者）、地域部会（第1～4地域部会）それぞれの分野別の共通の課題の事例検討、情報交換 研修会「介護保険制度について」「松田町の児童の現状について」「障害者への対応について」、支援奉仕活動</li> <li>○ 担当地域の要見守り対象者、要支援者の実情把握、調査内容の再確認をし、特に災害時、要支援対象者の対策のため、自治会等と協力し災害時支援体制の確立を図る。</li> <li>○ 担当地域の登校児童・生徒の見守り活動（新学期ごとに強化活動実施）</li> <li>○ 町福祉事業への協力：①敬老会（担当地域の対象者確認・案内状配布、当日の受付、祝品授受、配布）②町、社協が進めている小地域福祉計画への協力</li> <li>○ 町社協事業への協力：①賛助会員勧誘及び会費徴収活動、②共同募金法人向け募金活動、③あったかフェスタ奉仕支援</li> <li>○ その他関係機関・施設への奉仕活動：①こどもの館行事への奉仕、②障害者福祉協会行事への奉仕、③県主催子どもグループ支援</li> </ul>
山北町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 救護及び救急救命講習会中止</li> <li>○ 各部会事例検討会中止</li> <li>○ 児童福祉関連施設視察研修中止</li> </ul> <p><b>【調査事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世帯調査：担当地区内の4月1日現在の独居高齢者等の把握調査を実施</li> <li>○ 避難行動要援護者把握調査</li> <li>○ 緊急時の連絡先調査（対象65歳以上）</li> <li>○ 見守り対象者実態調査（対象者把握）</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中学校等への奉仕活動</li> <li>○ 各地域福祉協議会行事への協力</li> <li>○ 心配ごと相談（月1回）</li> </ul>

開成町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定例会において事例検討会を実施し、民生委員児童委員活動に役立てた。</li> <li>○ 行政や社協・地域包括支援センター主催の研修に参加した。</li> </ul> <p><b>【実践活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『ほほえみ通信』を年4回発行</li> <li>○ 敬老の日に合わせてメッセージカードを作成。75歳以上の方を対象に贈呈した。コロナ禍において感染予防対策に留意しポスティングとした。</li> </ul>
箱根町	<p><b>【住民福祉を実践していくうえで必要な経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委員活動を円滑に進めて住民福祉の推進を図るため、委員の認知向上を目的として実施 委員名刺作成、PRグッズ（PRカード、クリアファイル）購入</li> <li>○ 県外研修、町内研修は新型コロナウイルスの影響で中止</li> </ul>
真鶴町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修会参加費 研修時の新型コロナウイルス感染拡大予防のための各種物品購入</li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て支援事業等への協力 事業時の新型コロナウイルス感染拡大予防のための各種物品購入</li> </ul>
湯河原町	<p><b>【研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民生委員・児童委員の知識の向上を図るため研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 定例会時にミニ研修会を開催</li> <li>② 県民児協等主催の民生委員児童委員研修に参加（DVD等による研修会）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【調査事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 要援護者等の把握・サービス提供者の調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 対象世帯（生活保護世帯、寝たきり老人、ひとり暮らし老人、老人夫婦世帯・在宅重度障害児者・母子世帯・父子世帯・要保護準要保護児童等）の調査</li> <li>② 明細地図を新規配付し、担当地域の世帯の把握</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【実践事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心配ごと相談室（毎月10日・20日）に協力（コロナ禍のため7月のみ実施） 行政相談員、人権擁護委員、法務局と協力し、3人1組の当番制で住民の相談に応じた</li> <li>○ 社協の共同募金街頭運動に協力</li> <li>○ 年末慰問金の配布：要保護世帯・準要保護世帯に町から慰問金個別配布に協力</li> <li>○ 福祉タクシー券の配布：在宅重度障害者（1～3級）に町からの個別配布に協力</li> </ul>

② 地域福祉活動促進費交付額一覧 (単位：円)

横須賀市	1,168,000	大和市	554,000	大磯町	119,000
平塚市	838,000	伊勢原市	307,500	二宮町	108,500
鎌倉市	461,000	海老名市	327,000	中井町	75,500
藤沢市	1,040,000	座間市	309,000	大井町	96,500
小田原市	764,500	南足柄市	152,500	松田町	93,500
茅ヶ崎市	658,000	綾瀬市	286,500	山北町	93,500
逗子市	189,000	愛川町	142,000	開成町	90,500
三浦市	204,000	清川村	55,000	箱根町	104,000
秦野市	531,000	葉山町	117,500	真鶴町	69,500
厚木市	619,500	寒川町	163,500	湯河原町	119,000
				合 計	9,857,000

(2) 民生委員児童委員活動推進事業の指定

① 民生委員児童委員活動推進事業 経費：73,036円

多様化する住民のニーズや地域の福祉課題にそった民生委員・児童委員活動の推進をめざし、計画された意欲ある事業を奨励・普及するため、民児協を指定し、経費を助成した。

○ 助成金額合計：72,376円

地域名	事業名	助成額
海老名市民児協	民生委員・児童委員のためのQ&A集の製作	72,376円

② 指定地区民生委員児童委員協議会への助成

全国互助共励事業の一環として、民児協運営の充実と地域福祉活動の振興を通じて民生委員・児童委員活動の活性化を図るため、2地区を指定し、1地区年額100,000円(国63,000円、県37,000円)の活動費を助成した。

○ 助成金額合計：200,000円(国：126,000円、県：74,000円)

○ 指定期間：令和元年度から令和2年度の2ヵ年

○ 指定地区民児協の主な活動内容

平塚市横内地区民児協

<会 長>川島辰治

<民生委員・児童委員数>17名(男性：5名、女性：12名)

<世帯数・人口>197世帯 283名 外国籍市民の住居率が8%と高い。また、高齢者や一人暮らし世帯の増加や、貧困問題が課題。

<取り組んだ重点活動>

①子どもサロン開催に向け準備

②子ども達へのプレゼント準備等

<具体的取組内容>

①新型コロナウイルスの状況を見ながら実施の方向へ

②プレゼント品目を先生に相談する

<実施の状況>

①新型コロナウイルスの状況下、安全を考えて止む無くの中止とする。今後はコロナウイ

ルスが終息後、実施に向けて活動する予定。

- ②マーカーペンを、今春小学校へ入学する全児童（51名）へ入学祝い、進級する小学1年～5年生の全員（315名）へは進級祝いとして、そして卒業祝いとして6年生全員（61名）にも配布。

#### 鎌倉市第十地区民児協

＜会 長＞千代美和子

＜民生委員・児童委員数＞15名（男性：4名、女性：11名）

＜世帯数・人口＞約6,000世帯 約17,000名 高齢者の流出も多く世帯数は減少傾向にある。

＜取り組んだ重点活動＞

調査・分析

＜具体的取組内容＞

民生委員・児童委員のおかれた状況を把握し、課題を抽出する。

＜実施の状況＞

鎌倉市内全民生委員・児童委員およびOBOG等にアンケートを実施。回答を基に大学研究室とコラボして分析し、課題を抽出する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大のため大学研究室との共同研究が難しくなり、民児協内で分析を行う。アンケート回答では記述部分に多くの意見が寄せられ、状況把握・課題抽出はかなり進んだ。各方面・分野で活動に反映されることを期待する。

#### (3) 地域版活動強化方策の策定支援 経費：0円

地域版活動強化方策の策定に当たり、各地区民児協が計画的にアドバイザーや外部講師の助言・指導を受けるための経費について助成するために令和2年度より支援制度を創設した。

○ 助成金額合計：0円（申請無し）

#### (4) ブロック活動の役割の確認と活動強化に向けた支援 経費：322,335円

各地域におけるニーズに応じた活動の展開を図るため、県内6ブロックそれぞれが実施する会議、研修会および関係機関との連絡会などをブロックの実状に応じて計画し、県民児協はその開催経費の助成を行なった。

○ 助成金金額合計：648,350円（うち256,295円戻入）

ブロック名	活動状況
横須賀・三浦 (4市1町) 横須賀市 鎌倉市 逗子市 三浦市 葉山町	○会議(3回) 7月29日：第1回ブロック会議 ※コロナウイルスの影響により書面開催 (1)各民児協における事業について ①令和元年度事業報告・決算 ②令和2年度事業計画・予算 (2)令和2年度横須賀・三浦ブロック会議の活動内容について 12月21日：第2回ブロック会議
幹事地域：葉山町 助成額：60,000円 (うち27,510円戻入)	(1)コロナ禍における各市民児協の活動状況について ①情報交換 ②質疑 (2)第3回ブロック会議について

	<p>①神奈川県民児協共通課題の選択</p> <p>3月18日：第3回ブロック会議</p> <p>※コロナウイルスの影響により書面開催</p> <p>(1) 令和2年度横須賀・三浦ブロック会議事業報告(案)について</p> <p>(2) 令和3年度横須賀・三浦ブロック会議事業計画(案)について</p> <p>(3) 各市民児協情報交換</p> <p>①神奈川県民児協共通課題より</p> <p>○ 連絡会(1回)</p> <p>10月9日：児童相談所との連絡会議</p> <p>(1) 児童相談所における最近の事例について</p> <p>①神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所</p> <p>②横須賀市児童相談所</p> <p>③質疑</p> <p>(2) 児童福祉に関わる情報交換</p>
<p>県央 (5市1町1村)</p> <p>厚木市 大和市 海老名市 座間市 綾瀬市 愛川町 清川村</p> <p>幹事地域：海老名市 助成額：145,000円 (うち52,793円戻入)</p>	<p>○ 会議(5回)</p> <p>5月21日：第1回県央ブロック会議</p> <p>※コロナウイルスの影響により書面開催</p> <p>(1) 令和元年度事業報告及び収入支出決算について</p> <p>(2) 令和2年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について</p> <p>(3) 令和2年度小規模研修会(案)及び大規模研修会(案)について</p> <p>9月17日：第2回県央ブロック会議</p> <p>(1) 大規模研修会(案)について</p> <p>(2) 児童相談所との連絡会(案)について</p> <p>(3) 市町村民児協活動の情報交換について</p> <p>(4) その他</p> <p>1月21日：第3回県央ブロック会議</p> <p>※コロナウイルスの影響により書面開催</p> <p>(1) 市町村民児協活動の情報交換について</p> <p>(2) その他</p> <p>1月21日：主任児童委員情報交換会</p> <p>※コロナウイルスの影響により書面開催</p> <p>(1) 児童委員活動の情報交換について</p> <p>(2) その他</p> <p>3月18日：第4回県央ブロック会議</p> <p>※コロナウイルスの影響により書面開催</p> <p>(1) 令和2年度事業報告(案)について</p> <p>(2) 令和3年度事業計画(案)について</p> <p>(3) その他</p> <p>○ 研修会(1回)</p> <p>7月16日：県央ブロック会議 小規模研修会</p> <p>※コロナウイルスの影響により中止</p>

	<p>11月19日：県央ブロック会議 大規模研修会          テーマ：「“地域の灯台”をめざそう！～災害に備える委員同士の支えあいを考える～」          講師：泉恵造（合同会社泉恵造研修企画工房）</p> <p>○ 連絡会（1回）          1月21日：児童相談所との連絡会          ※コロナウイルスの影響により書面開催          (1) 児童相談所の現状と課題について          (2) 意見交換          (3) その他</p>
<p>湘南東          (2市1町)          藤沢市          茅ヶ崎市          寒川町</p> <p>幹事地域：寒川町          助成額：90,000円          (うち50,000円戻入)</p>	<p>○ 会議（2回）          11月27日：令和2年度第1回湘南東ブロック会議          (1) コロナ禍での民生委員活動について          (2) 令和2年度湘南東ブロック会議日程について          3月24日：令和2年度第2回湘南東ブロック会議          (1) コロナ禍での民生委員活動（会議の開催方法も含む）について          (2) 今後の活動内容等について          (3) 令和3年度湘南東ブロック全体研修について</p>
<p>湘南西          (3市2町)          平塚市          秦野市          伊勢原市          大磯町          二宮町</p> <p>幹事地域：秦野市          助成額：70,000円</p>	<p>○ 会議（2回）          10月5日：令和2年度第1回湘南西ブロック会議          (1) 令和2年度事業計画について          (2) 各市町民児協からの提案議題について          (3) その他          令和2年度第2回湘南西ブロック会議          ※コロナウイルスの影響により書面開催          (1) 令和2年度事業結果について          (2) 令和2年度収支結果について          (3) 意見交換          (4) 令和3年度幹事について</p> <p>○ 研修会（1回）          12月8日：令和2年度第1回湘南西ブロック会議研修会          内容：(1) コロナ禍における所轄地域の現状と課題について          (2) 事例報告（民生委員・児童委員、主任児童委員が関わった事例）          講師：森田ミチル（平塚児童相談所 児童福祉司）</p>
<p>足柄上          (1市5町)          南足柄市          中井町          大井町</p>	<p>○ 会議（6回）          4月27日：第1回・ブロック会議          ※コロナウイルスの影響により書面開催          (1) 足柄上ブロック会務報告（昨年度）          (2) 令和元年度事業報告</p>

<p>松田町 山北町 開成町</p> <p>幹事地域：山北町 助成額：153,350円</p>	<p>(3) 令和2年度事業計画 (4) コロナ禍における活動について</p> <p>5月16日：会計監査</p> <p>※コロナウイルスの影響により通信及び書面開催</p> <p>(1) 令和元年度事業報告 (2) 令和2年度会計報告及び令和元年度監査 (3) 令和2年度事業計画 (4) 令和元年度収支</p> <p>8月19日：ブロック会長会議</p> <p>(1) 監査報告 (2) 今後の事業計画について (3) 各地区における活動状況</p> <p>10月20日：第2回・ブロック会議</p> <p>(1) 足柄上ブロック会務報告（4月～9月） (2) 令和2年度事業計画の見直しと意見交換 (3) 各民児協の活動状況の情報交換</p> <p>12月23日：第3回・ブロック会議</p> <p>(1) 足柄上ブロック会務報告（9月～11月） (2) 各民事協の活動状況の情報交換</p> <p>3月16日：ブロック会長会議</p> <p>(1) 令和3年度事業（活動）実施報告案について (2) 新型コロナウイルスワクチン接種について (3) その他</p> <p>○ 研修会（2回）</p> <p>10月20日：小規模研修会 内容：「新型コロナウイルス感染症に関する学習会」 ・福祉施設のクラスター予防対策</p> <p>12月23日：小規模研修会 内容：「新型コロナウイルス感染症に関する学習会」 ・市中感染と地域</p> <p>○ 連絡会（2回）</p> <p>4月27日：第1回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会（足柄上地区民生委員児童委員代表者会議）</p> <p>(1) 小田原保健福祉事務所足柄上センターからの連絡 （新型コロナウイルス感染症情報提供）</p> <p>10月20日：第2回小田原保健福祉事務所足柄上センター連絡会（足柄上地区民生委員児童委員代表者会議）</p> <p>(1) 小田原保健福祉事務所足柄上センターからの連絡 （新型コロナウイルス感染症に関する学習会）</p>
<p>西湘 （1市3町）</p>	<p>○ 会議（1回）</p> <p>2月12日：令和2年度第1回西湘ブロック会議</p>

小田原市 箱根町 真鶴町 湯河原町	(1) 令和2年度事業報告及び会計報告について (2) 令和3度西湘ブロック会議の運営について (3) 情報交換・意見交換 (4) その他
幹事地域：真鶴町 助成額：130,000円 (うち125,992円戻入)	

(5) 民生委員・児童委員活動に伴う保険加入促進助成事業の実施 経費：1,203,985円

民生委員・児童委員が地域での福祉活動等に参加する際に発生する事故や怪我に対して安心して活動できるよう、各市町村民児協で民生委員・児童委員に対しての保険加入を促進するために、掛け金の一部を助成した。

<助成金交付状況>※人数は延べ人数

市町村名	助成人数(人)	合計額(円)	市町村名	助成人数(人)	合計額(円)
横須賀市	0	0	綾瀬市	129	38,700
平塚市	400	120,000	愛川町	64	19,200
鎌倉市	214	64,200	清川村	10	3,000
藤沢市	504	151,200	葉山町	52	15,600
小田原市	330	99,000	寒川町	70	21,000
茅ヶ崎市	317	95,100	大磯町	53	15,900
逗子市	69	20,700	二宮町	47	14,100
三浦市	73	21,900	中井町	25	7,500
秦野市	260	78,000	大井町	39	11,700
厚木市	306	91,800	松田町	34	10,200
大和市	261	78,300	山北町	38	11,400
伊勢原市	141	42,300	開成町	35	10,500
海老名市	157	47,100	箱根町	43	12,900
座間市	144	43,200	真鶴町	15	4,500
南足柄市	61	18,300	湯河原町	55	16,500
			合計	3,946	1,183,800

(6) 生活福祉資金の積極的活用、社会福祉協議会との協働の促進

低所得、障がい者、高齢者世帯の生活自立支援に向け、生活福祉資金制度等の積極的な活用を図るため、県社協で開催した新任民生委員・児童委員やリーダー層に対する研修へ協力を行った。また、県社協が民生委員・児童委員を対象に実施した、テーマ別研修Ⅰ・Ⅱや、福祉関係者を対象に実施した県社協の諸事業に参加・協力した。

3. 児童委員活動の推進（基盤づくり） 経費：413,027円

(1) 児童委員・主任児童委員連絡会議の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止



## (2) 児童委員・主任児童委員活動推進会議の開催

県内の児童委員、主任児童委員が集い、児童委員活動推進に向けて協議を行う児童委員・主任児童委員活動推進会議を開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加人数を制限して開催し、研修動画 DVD を作成・配布した。(DVD 作成枚数：250 枚)

開催期日	内 容
2. 11. 19 (40 名) 於：関内ホール 小ホール	「生活者として子どものためにできること」 ・いち生活者として地域の中で子どもと触れ合うことにより、大人も育つ地域を作ることの意味 ・今の活動の中での児童委員との関わりの実際や児童委員への期待・エール等 【講師】加藤 彰彦 氏（沖縄大学名誉教授）

## (3) 主任児童委員情報交換会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

## 4. 研修事業の実施（本会主催研修事業） 経費：3, 252, 299円

本会事業から見えてきた課題をもとに研修テーマを設定し、本会主催の研修を開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの研修が中止となったため、オンライン研修等に対応するための機器整備を行ったほか、全民児連の代替動画研修を本会主催研修として開催した。

### (1) 市町村民児協会長研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

### (2) 地区民児協会長研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

### (3) 新任地区民児協会長研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和3年度に延期。

代替として、「新任地区民児協会長向け小冊子『新任地区民児協会長の役割と心構え』」を作成、配布（300部）及び、就任記念品（印鑑付きボールペン）の作成・配布（85本）。

### (4) 課題別集中講座

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

### (5) 新任民生委員児童委員情報交換会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(6) 令和2年度全国児童委員活動研修会（全民児連代替動画研修）

全民児連が令和2年度全国主任児童委員研修会並びに全国児童委員活動研究協議会を集合形式で実施しないことから代替として提供した講義動画及び研修資料の送付をもって、本会主催事業として実施した。

開催期日	内 容
視聴期間 3.1.22～3.10 (393名)	<p>「行政説明」【講師】厚生労働省子ども家庭局子育て支援課</p> <p>「講義1 民生委員、主任児童委員活動の活性化に向けて」 【講師】松原 康雄 氏（明治学院大学名誉教授）</p> <p>「シンポジウム 10の提言を踏まえ今後の児童委員、主任児童委員活動を展望する」 【コーディネーター】松原 康雄 氏（明治学院大学名誉教授） 【シンポジスト】廣瀬 みどり 氏（千葉県佐倉市千代田地区民児協会会長） 泉 宏子 氏（同 民児協主任児童委員） 羽鹿 誠一 氏（大阪市東成区中本地区民児協会会長） 福永 美和子 氏（同 民児協主任児童委員）</p> <p>「講義2 地域で見守る子どもたちの未来～子どもの貧困問題を考える～」 【講師】松尾 政樹 氏（子どもの貧困対策センターあすのば 事務局長）</p>

(7) 令和2年度全国リーダー研修会（全民児連代替動画研修）

全民児連が令和2年度リーダー研修を集合形式で実施しないことから代替として提供した講義動画及び研修資料の送付をもって、本会主催事業として実施した。

開催期日	内 容
視聴期間 3.1.22～3.10 (313名)	<p>「行政説明1 地域共生社会の推進と民生委員・児童委員への期待」 【講師】厚生労働省社会・援護局地域福祉課</p> <p>「行政説明2 子ども・子育て支援の状況と児童委員、主任児童委員の役割」</p> <p>「講義1 障がいがある方の人権」 【講師】川田 隆一 氏（NPO法人神奈川県障害者自立生活支援センター）</p> <p>「講義2 単位民児協等における研修の在り方と全民児連事業について」 【講師】全国民生委員児童委員連合会</p> <p>「講義3 単位民児協等における相談技法研修のすすめ方から『民生委員・児童委員のための相談技法研修用ビデオ』活用のポイント」 【講師】植田 寿之 氏（元梅花女子大学准教授）</p>

5. 情報提供の強化

(1) 『県民児協だより』の発行 経費：1,998,102円

『県民児協だより』（142号～144号）を発行した。また、発行に向け広報委員会を4回開催した。

（※ 1.(2)②「広報委員会」、③「通信員連絡会」の項参照）

<発行回数及び部数> 3回 各4,900部

※新型コロナウイルス感染症の影響で1回休刊

<配布先> 会員全員、関係機関団体等

<掲 載 内 容>

号数	コーナー名	掲載内容
142号	まなざし	藤沢市民児協
	特集①	「地域版活動強化方策」の進捗報告を踏まえて目指すべき地域や活動の「青写真」を描こう
	特集②	令和2年度県民児協 事業計画・予算
	特集③	神奈川県での令和2年度重点的な取り組み
	NEWS&インフォメーション	こんな時だからこそ「つながり」について考えてみる 寄稿：「3.11 被災地に学ぶ防災力」（清川村通信員 橋爪公子）
	通信員だより	① 担当地区で「未病サロン」を開設（三浦市 大森美城雄） ② お散歩しましょう！（清川村 橋爪公子） ③ 湯河原町民生委員児童委員、昨年秋の研修について（湯河原町 横井勝己）
143号	まなざし	小田原市民児協
	特集	改選から1年。今後の委員活動を展望してみましよう ～新型コロナウイルス感染症により見えてきた課題を踏まえて～
	解説	やさしい日本語
	NEWS&インフォメーション／編集雑感	・民生委員・児童委員のためのQ&A集でステップアップ（海老名市民児協） ・第89回全国民生委員児童委員大会 ・児童委員・主任児童委員活動推進会議 ① 編集雑感（広報委員 西村恵美子）
	通信員だより	① 「活動記録」の簡便化を試行して（横須賀市 山岸一男） ② 新型コロナ禍における民生委員・児童委員の地域活動について（厚木市 高田幸夫） ③ わたし達が近くにいます!!（松田町 山田敏子）
144号	まなざし	茅ヶ崎市民児協
	特集	令和2年度受章（賞）者紹介
	市町村民児協発活動研究レポートNo.45	新しい生活様式に向けたオンライン会議について考える～広報委員会をオンラインで実施してみて分かったこと～ 活動のヒント・ポイント：中村 美安子（神奈川県立保健福祉大学教授）
	ひとネットワーク地域と社会資源	気兼ねなく話せ、必要な情報が得られる～ひきこもりの子どもを持つ親の会「KHJ神奈川 虹の会」～
	NEWS&インフォメーション	民生委員・児童委員のPR活動のいろいろ
	通信員だより	① 様変わりした定例会風景（伊勢原市 出縄幹雄） ② コロナ禍における民生・児童委員の部会活動（大和市 倉林夏子） ③ 担当地区を歩こう（葉山町 藤本茂夫）

また、県民児協だよりに挟み込む形で別刷りの資料を作成し、配布した。

- ・学びを深めましょう 研修のためのDVD・書籍の案内（県民児協だより 143号に挟み込み）
- ・神奈川県民児協データファイル No.26（県民児協だより 144号に挟み込み）  
「令和元年度活動記録の集計結果について」
- ・神奈川県民児協データファイル No.27  
「令和元年度個別援助票集計結果概要の報告」

## (2) 『神奈川県民生委員児童委員活動概況』の発行

3年に一度、一斉改選の翌年にあたる本年に、県民児協の活動をまとめ、「概況」（全委員に向けてはダイジェスト版作成・発行）として発行した。

〈発行数〉神奈川の民生委員児童委員活動概況（冊子）300冊

ダイジェスト版 4,800冊

## (3) 民生委員・児童委員活動の広報の強化

### ① 民生委員・児童委員活動PR事業

各地域でのPR活動に活用できるように、神奈川県民児協キャラクター「みんぴょん」をモチーフにしたPRグッズを作成・配布した。

〈みんぴょんメッセージスタンプ〉

作成数：3種類 200個ずつ（有償配布数：6種類 計258個）

〈みんぴょんシール〉

作成数：40,000枚

〈みんぴょん缶バッジ〉

作成数：5,000個

〈みんぴょんクリアファイル〉

作成数：4種 5,000枚ずつ

〈やさしい日本語パンフレット〉

作成数：15,000部

神奈川県民児協  
キャラクター

「みんぴょん」



### ② 県民児協ホームページ等の運営

平成22年10月に開設した本会ホームページについて「県民児協だより」の公開等随時内容を更新する等、地域の民生委員・児童委員や一般住民に民生委員・児童委員活動の情報発信をした。コロナ禍で活動を行っている委員に向けた「会長メッセージ」の掲載や、住民へのメッセージとして活用可能な「お役立ち情報」、印刷して活用できるみんぴょんをモチーフにしたレターセットを作成し、ダウンロードできるように掲載した。

また、より充実した情報発信のため、令和3年度からのホームページリニューアルに向けた内容検討、情報精査等を行った。

このほか、全民児連や全社協、県等の関係機関団体より民生委員・児童委員を対象に発行された資料等を市町村民児協を通じて、随時、情報として提供した。

### ③ 研修用DVD等研修資材の整備

各地区民児協の研修、学習会等の教材として役立つ書籍やDVDを購入・貸出用として整理し、各市町村民児協事務局を通じて貸出を行った。

DVD購入数：6枚

書籍購入数：6冊

貸出件数：10件

④ PR用ビブスの貸し出し

民生委員・児童委員 PR用のビブスを各市町村民児協事務局を通じて貸出の案内を行った。

貸出件数：0件

6. 全国・関東ブロック会議等への参加

年月日	会議名	開催地	参加者数
<del>1. 2.6.4～5</del>	令和2年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止	静岡市	—
<del>2. 10.22～23</del> 2. 10.22	令和2年度全国民生委員児童委員大会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から横浜で1日間、規模縮小しての開催	<del>群馬県</del> 横浜市	3名
動画提供期間 3. 1.22～3.10	令和2年度全国児童委員活動研修会（令和2年度全国主任児童委員研修会と令和2年度全国児童委員研究協議会を合わせて実施したもの） ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講義動画（YouTube）により実施	<del>東京近郊</del>	393名
<del>2. 10.7～8</del>	民生委員児童委員のための相談技法研修会（傾聴研修） ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止	<del>神奈川県</del>	—
<del>2. 11.25～27</del> 動画提供期間 2. 12.15～ 3. 3.10	令和2年度民生委員・児童委員リーダー研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講義動画（YouTube）により実施	<del>神奈川県</del>	313名
<del>3. 2.3～5</del> 3. 2月上旬～22	令和2年度全国民生委員指導者研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講義映像（DVD）による学習とレポートの提出により実施	<del>神奈川県</del>	2名
—	令和2年度都道府県・指定都市市民児協事務局会議 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から資料送付のみ	<del>東京都</del>	—

7. 関連団体・機関との連携、協働

(1) 県社会福祉審議会、県児童福祉審議会、県介護保険審査会・保険給付等審査部会をはじめとした県関係の高齢・障がい・児童等の福祉関係の審議会や委員会等のほか、県薬事審議会やかながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会をはじめとする保健関係の審議会や委員会、神奈川県学校・家庭・地域連携協力推進委員会などの教育関係の会議等に参加・協力するとともに、神奈川県共同募金会などの関係団体の会議等に参加・協力した。

また、神奈川県精神保健福祉協会、北方領土返還要求運動神奈川県民会議に負担金を納めるとともに、事業への参加・協力を行った。

(2) 行政委託事業（県社協実施）への協力

神奈川県・横須賀市の行政機関からの委託事業として県社協が実施する研修事業の開催に協力した。これらは、民生委員法に基づく民生委員の指導訓練のために行政機関が行う研修となっている。

①新任民生委員児童委員研修会

新任委員（令和元年12月2日以降に新たに委嘱された民生委員・児童委員（主任児童委員を含む）、および本研修未受講の民生委員・児童委員（主任児童委員を含む））を対象に開催

開催期日等	内 容
3. 1. 26 ～ 2. 26 (申込者 259 名) ※動画配信及び講師 の教材の送付	<p>[テーマ] 民生委員・児童委員の役割と心構え</p> <p>[内 容] ・地域福祉の担い手と民生委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に必要不可欠な3つの心構え</li> <li>・民生委員法を手がかりにして民生委員の基本的立場を理解する</li> <li>・民生委員に期待される「つなぎ役」（縁結び役）</li> </ul> <p>[講 師] 小林雅彦（国際医療福祉大学教授）</p>

②民生委員児童委員リーダー研修会

単位地区民児協正副会長、各種正副部会長等リーダー層を対象に開催

開催期日等	内 容
3. 1. 27 ～ 3. 1 (申込者 177 名) ※研修動画 DVD 及び 研修資料の送付	<p>[テーマ] リーダーだからこそ大切なセルフケア、仲間と心を通わすサポートとは～「わたし」と「仲間」を大切にすることの意味～</p> <p>[内 容] 【講義1】 導入「私」編 セルフワーク編 【講義2】 仲間編 まとめ編</p> <p>[講 師] 山中達也（山梨県立大学准教授）</p>

③民生委員児童委員テーマ別研修Ⅰ・Ⅱ

開催期日等	内 容
テーマ別研修Ⅰ 3. 1. 26 ～ 2. 26 (申込者 516 名) ※動画配信及び研修 資料の送付	<p>[テーマ] 地域に暮らす外国人と民生委員・児童委員のかかわり</p> <p>[内 容] 【第1部】 地域に暮らす外国人と民生委員・児童委員のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における外国にルーツのある住民の現状</li> <li>・外国人が直面する壁と抱えやすい生活課題</li> <li>・外国にルーツを持つ住民との関係づくりのポイント</li> </ul> <p>【第2部】 「やさしい日本語」を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で暮らす外国人と民生委員・児童委員</li> <li>・「やさしい日本語」とは何か？</li> <li>・「やさしい日本語」のコツ</li> <li>・「やさしい日本語」を使ってみよう！</li> <li>・多文化共生社会に向けて民生委員・児童委員へのエール</li> </ul> <p>【第3部】 &lt; 情報提供 &gt; 在住外国人の生活支援の取組</p>

開催期日等	内 容
	<p style="text-align: center;">～かながわ国際交流財団の活動から～</p> <p style="text-align: center;">〔講 師〕 南野奈津子（東洋大学教授）  新居みどり（(N) 国際活動市民中心（CINGA））  倉橋ジェラルデン、諏訪淳美（(公財) かながわ国際交流財団）</p>
<p>テーマ別研修Ⅱ  3. 2. 2  ～ 3. 15  （配布数 4,055 名）  ※全社協発行冊子の  送付</p>	<p>〔実施方法〕『民生委員・児童委員必携 第 65 集』を全民生委員・児童委員分  配布  〔内 容〕 民生委員・児童委員活動と法律等の知識  ※感想カード回収数：653 枚</p>

(3) 全民児連分担金として 3,114,300 円を納めた。また、全民児連より「都道府県・指定都市民児協 ICT 化推進給付金」として 10 万円の給付があった。

(4) 関東甲信越 1 都 10 県 8 政令市の民生委員・児童委員をもって組織する関東ブロック民生委員児童委員連合協議会においては、令和 2 年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会が中止となったことから、会費の納入は無しとなった。

(5) 令和 2 年 7 月豪雨に際して、被災地民生委員・児童委員及び被災地民児協の支援として支援金の協力を各市町村民児協に求め、本会でとりまとめ被災地民児協に寄付を行った。

令和 2 年 7 月豪雨

募金額	2,072,736 円		
送金額・送金先	2,074,000 円		
	(内訳)	岐阜県民児協	1,286,000 円
※端数は県民児協負担		熊本県民児協	788,000 円

# 決 算 報 告



## 令和2年度 神奈川県民生委員児童委員協議会収入支出決算書（案）

収入決算額	41,161,972 円	自 令和2年4月1日
支出決算額	39,735,494 円	至 令和3年3月31日
差引残額	1,426,478 円	（次年度へ繰越）

（収入の部）

（単位 円）

科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③(①+②)	決算額 ④	差引増減(△) (③+④)	説明
大区 分	中区 分 小区分						
1. 会費		28,840,000	0	28,840,000	28,918,500	△78,500	
	1. 会費	28,840,000	0	28,840,000	28,918,500	△78,500	
	1. 会費	28,840,000		28,840,000	28,918,500	△78,500	年会費(⑥,500)×実数 28,918,500
2. 補助金		9,975,000	0	9,975,000	9,784,100	190,900	
	1. 補助金	5,418,000	0	5,418,000	5,418,000	0	
	1. 補助金	5,418,000		5,418,000	5,418,000	0	神奈川県 4,465,000
				0		0	横須賀市 953,000
	2. 神奈川県委託費	0	0	0	0	0	
	1. 神奈川県委託費	0		0	0	0	
3. 全社協助成金		3,781,000	0	3,781,000	3,588,100	192,900	
	1. 全国互助共励事業 助成金	3,781,000		3,781,000	3,588,100	192,900	互助事業費補助 1,727,000
						0	共励事業費補助 526,400
						0	取扱事務費補助 1,334,700
4. 県社協助成金		776,000	0	776,000	778,000	△2,000	
	1. 民生委員部会助成金	776,000		776,000	778,000	△2,000	

(単位 円)

科目		当初予算額 ①	補正額 ②	予算現額 ③(①+②)	決算額 ④	差引増減(△) (③+④)	説明
大区 分	中区 分 小区分						
	3. 諸収入	39,000	0	39,000	100,104	△61,104	
	1. 雑収入	39,000	0	39,000	100,104	△61,104	
	1. 物資斡旋収入	9,000		9,000	0	9,000	民生委員物品売上金
	2. 雑収入	30,000		30,000	100,104	△70,104	ICT化推進給付金(全民児連)、預金利息
	4. 積立金取崩収入	1,648,000	0	1,648,000	0	1,648,000	
	1. 積立金取崩収入	1,648,000	0	1,648,000	0	1,648,000	
	1. 退任記念品取崩収入	0		0	0	0	
	2. 一斉改選積立金取崩収入	0		0	0	0	
	3. 運用準備積立金取崩収入	1,648,000		1,648,000	0	1,648,000	
	5. 繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
	1. 繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
	1. 基本財産繰入金	10,000	0	10,000	0	10,000	
	6. 繰越金	2,000,000	359,268	2,359,268	2,359,268	0	
	1. 繰越金	2,000,000	359,268	2,359,268	2,359,268	0	
	1. 前年度繰越金	2,000,000	359,268	2,359,268	2,359,268	0	
	収入合計	42,512,000	359,268	42,871,268	41,161,972	1,709,296	

## (支出の部)

(単位 円)

科 目			当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差異	執行率	説 明
大区分	中区分	小区分	①	②	③ (①+②)	④	(③-④)	(③/④)	
1.	運 営 費		14,334,000	0	14,334,000	12,600,358	1,733,642	87.9%	
	1.	役 員 費	1,219,000	0	1,219,000	435,538	783,462	35.7%	
		1. 役員会費	1,157,000	0	1,157,000	428,274	728,726	37.0%	正副会長会議 18,240 常任理事会 103,541 理 事 会 306,493 監 事 会 0 総 会 会 0
		2. 役員旅費	21,000	0	21,000	0	21,000	0.0%	正副会長・各種委員会委員等
		3. 役員交際費	31,000	0	31,000	6,000	25,000	19.4%	大会祝金・慶弔費用
		4. 支援・交流費	10,000	0	10,000	1,264	8,736	12.6%	
	2.	管 理 費	13,115,000	0	13,115,000	12,164,820	950,180	92.8%	
		1. 職員旅費	6,000	0	6,000	0	6,000	0.0%	事務局職員
		2. 需用費	485,000	0	485,000	443,105	41,895	91.4%	消耗品費 1,100 印刷製本費 442,005 来客接待費 0
		3. 役務費	290,000	0	290,000	72,820	217,180	25.1%	送金手数料、通信運搬費
		4. 借料及び損料	110,000	0	110,000	66,275	43,725	60.3%	会議室使用料 0 会計ソフト管理料 66,275
		5. 備 品 費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	
		6. 負 担 金	12,204,000	0	12,204,000	11,582,620	621,380	94.9%	全社協互助共励会費 8,453,100 全民児連会費 3,114,300 関ブロ会費 0 県内団体会費等 15,220 全国事務担当者会議等参加費 0
		7. 賃 金	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	アルバイト賃金
2.	育成事業費		24,993,000	28,000	25,021,000	24,228,136	792,864	96.8%	
	1.	研 修 費	5,981,000	△472,000	5,509,000	4,002,165	1,506,835	72.6%	
		1. 研修会費	3,517,000	300,000	3,817,000	3,252,299	564,701	85.2%	市町村民児協会長研修 0 地区民児協会長研修 0 新任地区民児協会長研修 640,420 新任民生委員研修 0 課題別集中講座 0 児童委員活動推進関連事業 413,027 研修企画用PC・プリンターリース料 600,071 研修企画用通信運搬費等 1,598,781
		2. 全国会議等研修会	1,744,000	△772,000	972,000	23,954	948,046	2.5%	全国大会 23,954 関東ブロック活動研究協議会 0 全国民生委員指導者研修会 0 全国主任児童委員研修会 0 全国児童委員研究協議会 0 民生委員リーダー研修会 0 全国相談技法研修会 0
		3. 資料購入費	720,000	0	720,000	725,912	△5,912	100.8%	民生委員児童委員活動関連資料

科 目		当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差異	執行率	説 明
大区分	中区分 小区分	①	②	③ (①+②)	④	(③-④)	(③/④)	
	2. 調査広報費	4,706,000	500,000	5,206,000	7,522,195	△2,316,195	144.5%	
	1. 委員会費	621,000	0	621,000	113,505	507,495	18.3%	総合企画委員会 46,182 広報委員会 67,323 通信員連絡会 0
	2. 広報活動費	4,026,000	500,000	4,526,000	7,339,357	△2,813,357	162.2%	県民児協だより発行費 1,998,102 民生委員児童委員活動PR作成費 2,771,427 HP管理費、広報活動用PCリース料 1,954,785 情報提供等通信運搬費等 615,043
	3. 連絡調整 会議費	59,000	0	59,000	69,333	△10,333	117.5%	事務担当者会議 13,940 児相長との連絡会議費 23,493 県行政との懇談会 31,900
	3. 地域福祉活動費	14,296,000	0	14,296,000	12,703,776	1,592,224	88.9%	
	1. 市町村民児協支援費	9,857,000	0	9,857,000	9,857,000	0	100.0%	※当該年度の定数を基準に積算
	2. 活動推進費	3,707,000	0	3,707,000	2,572,420	1,134,580	69.4%	個別援助票等印刷代 435,820 ブロック別活動助成費 322,335 保険掛金助成金 1,203,985 活動強化方策策定支援助成金 0 活動概況 610,280
	3. 指定民児協 推進費	732,000	0	732,000	274,356	457,644	37.5%	指定民協助成 201,320 活動推進事業 73,036 全国・県単指定事業報告会 0
	4. 物資斡旋費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	
	1. 物資斡旋費	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	民生委員バッジ・ネックレス等
	3. 互助事業費	3,056,000	0	3,056,000	2,771,000	285,000	90.7%	
	1. 県単互助事業費	1,180,000	0	1,180,000	1,180,000	0	100.0%	
	1. 県単弔慰金	410,000	0	410,000	470,000	△60,000	114.6%	
	2. 県単見舞金	770,000	0	770,000	710,000	60,000	92.2%	
	2. 全国互助事業費	1,748,000	0	1,748,000	1,591,000	157,000	91.0%	
	1. 全国弔慰金	670,000	0	670,000	705,000	△35,000	105.2%	
	2. 全国見舞金	1,078,000	0	1,078,000	886,000	192,000	82.2%	
	3. 退任記念品作成費	128,000	0	128,000	0	128,000	0.0%	
	1. 退任記念品作成費	128,000	0	128,000	0	128,000	0.0%	
	4. 積立金	119,000	0	119,000	136,000	△17,000	114.3%	
	1. 積立金	119,000	0	119,000	136,000	△17,000	114.3%	
	1. 退任記念品積立金等	99,000	0	99,000	136,000	△37,000	137.4%	退任記念品積立金
	2. 運用準備金積立金	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	運用準備金
	3. 一斉改選積立金	10,000	0	10,000	0	10,000	0.0%	一斉改選準備積立金
	5. 予備費	10,000	331,268	341,268	0	341,268	0.0%	
	1. 予備費	10,000	331,268	341,268	0	341,268	0.0%	
	1. 予備費	10,000	331,268	341,268	0	341,268	0.0%	
	支 出 合 計	42,512,000	359,268	42,871,268	39,735,494	3,135,774	92.7%	

# 貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,244,084	流動負債	766,528
現金	1,495	未払金	766,120
預金	4,112,079	預り金	408
未収金	130,510		
立替金	0		
前払費用	0		
		基金	21,836,377
固定資産	36,601,060	基本財産基金	21,836,377
基本財産	21,836,377		
預金	21,836,377		
		積立金	16,815,761
運用財産	14,764,683	退任記念品作成準備積立金	3,757,857
預金	14,764,683	運用準備金積立金	11,006,826
		一斉改選積立金	2,051,078
		繰越金	1,426,478
		繰越金	1,426,478
資産合計	40,845,144	負債・純財産合計	40,845,144

## 固 定 資 産 増 減 明 細 書

令和3年3月31日現在

(単位:円)

資産	期首繰越	期中増	期中減	期末残高	
基本財産	21,834,523	1,854	0	21,836,377	(別表1-(g))
預金	21,834,523	1,854	0	21,836,377	
運用財産	13,712,969	1,051,714	0	14,764,683	(別表1-(c+d+e))
固定資産	13,712,969	1,051,714	0	14,764,683	
預金	13,712,969	1,051,714	0	14,764,683	
その他固定資産	0	0	0	0	
	35,547,492	1,053,568	0	36,601,060	

## 積 立 金 明 細 書

令和3年3月31日現在

(単位:円)

区分	前期繰越金	当期		貸借対照表 計上額	
		増加額	減少額		
1. 退任記念品作製準備積立金	3,606,825	151,032	0	3,757,857	(別表1-(c))
2. 運用準備金積立金	10,106,144	900,682	0	11,006,826	(別表1-(d)+(e))
3. 一斉改選積立金	2,051,060	18	0	2,051,078	(別表1-(f))
合 計	15,764,029	1,051,732	0	16,815,761	

# 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

<b>(資 産)</b>		40,845,144 円		
1. 基 本 財 産		21,836,377 円		
(1) 預 金		21,836,377 円	(別表1)	(g)
2. 運 用 財 産		19,008,767 円		
流 動 資 産		4,244,084 円		
(1) 現 金		1,495 円		
(2) 預 金		4,112,079 円	(別表1)	(a)+(b)+(f)
(3) 前 払 費 用		0 円	(別表2)	
(4) 立 替 金		0 円	(別表3)	
(5) 未 収 金		130,510 円	(別表4)	
固 定 資 産		14,764,683 円		
(1) 預 金		14,764,683 円	(別表1)	(c)+(d)+(e)
<b>(負 債)</b>		766,528 円		
1. 流 動 負 債		766,528 円		
(1) 未 払 金		766,120 円	(別表5)	
(2) 預 り 金		408 円	(別表6)	

※固定資産増減明細書「基本財産」

※固定資産増減明細書「運用財産」

差引正味財産 ( (資産) - (負債) )      40,078,616 円

## 《資 産》

別表1 預金

(単位：円)

種類	会計名	一般口	退任記念品作 製準備積立	運用準備金 積立	一斉改選 積立	基本財産	合計
	銀行名						
普通 預金	横浜銀行 横浜駅前支店				2,051,078 (f)		2,051,078
	三井住友信託銀行 芝営業部	5,125 (a)	3,757,857 (c)				3,762,982
	三井住友銀行 横浜駅前支店	2,055,876 (b)		3,280,065 (d)			5,335,941
定期 預金	三井住友信託銀行 芝営業部			7,726,761 (e)		21,836,377 (g)	29,563,138
合	計	2,061,001	3,757,857	11,006,826	2,051,078	21,836,377	40,713,139

別表4 未収金

130,510 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	互助事業費給付金 (3月申請分)	53,000
2	令和2年度ブロック活動助成金 戻入	77,510
合計		130,510



《負債》

別表 5

未払金

766, 120 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	データファイルNo27作成費	188, 650
2	市町村民児協等あて送料(3月分)	209, 225
3	会計システムライセンス追加経費	77, 000
4	市町村民児協等あて通信運搬費 (2-3月分)	181, 095
5	新任地区民児協会長向け小冊子 (修正印刷費)	7, 150
6	互助事業給付金 (3月申請分)	103, 000
合計		766, 120

別表 6

預り金

408 円

(単位：円)

番号	摘要	
1	1-3月分源泉所得預り金	408
合計		408

# 監 査 意 見 書

令和3年 6月 2日

神奈川県民生委員児童委員協議会会長 殿

神奈川県民生委員児童委員協議会会則第19条の定めるところにより、令和2年度における業務の執行状況並びに財務状況について、当該年度の事業報告及び収支決算、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類を精査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認める。

神奈川県民生委員児童委員協議会

監事 千代美和子 

# 監 査 意 見 書

令和3年 6月 2日

神奈川県民生委員児童委員協議会会長 殿

神奈川県民生委員児童委員協議会会則第19条の定めるところにより、令和2年度における業務の執行状況並びに財務状況について、当該年度の事業報告及び収支決算、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類を精査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認める。

神奈川県民生委員児童委員協議会

監事 瀬戸昌子

